

第 79 期第 3 回ダイバーシティ推進委員会議事録

日 時：2023 年 12 月 18 日（月）14：00～16：25

場 所：オンライン会議（Zoom）

（敬称略）

出席：

小林夏野、山本文子、石原安野、板橋健太、大畠悟郎、斉藤準、田島節子(-16:00)、成木恵、服部梓(-16:00)、濱口幸一、溝川貴司、板倉明子(-16:00)、中本有紀(15:15-16:00)、野中千穂
事務局) 見供(-16:00)、宮野

欠席：

岩崎昌子、所裕子、肥山詠美子、山本貴博、市川温子、門信一郎、野尻美保子

<議題>

1. 男女共同参画学協会連絡会（2023/10/14[東京大学]シンポジウム参加報告：浜口委員、小林委員長）

当日の様子が以下の通り報告された。

アンケート結果や加盟学協会の取り組み紹介がされ、その中で「海外交流委員」については物理学会でも検討してもよいかもしれないと感じた。また、フィールドワークとして男性の育休取得の話に興味深かった。

植物学会が男女共同参画のシンポジウム実施について、他のシンポジウムとかぶらずに開催できるよう学会がサポートしてくれていると話していた。物理学会にも必要なケアだと感じた。各加盟学協会のいいところを共有したいので、なにかあれば出してほしいとの話もあった。物理学会は託児室だと思うが、他の加盟学協会の多くが既に実施している取り組みでもある。

また、12月4日に開催された運営委員会についても以下の通り併せて報告された。
第5回大規模アンケートの解析が前期で完了しなかったため、今期で継続して行っていたが、日本語解析は完了し、英語もほぼ完了して、間もなく印刷にまわる予定。

2. AAPPS 理事会（2023/11/3-5[韓国]参加報告：田島委員）

田島委員より資料に沿って以下の報告がされた。

物理学会からは3名が参加した。コロナ禍でオンライン開催が続いていたが3年振りに対面で開催された。

AAPPS では WG は WIP の 1 つだけで予算はなかったが、野尻 chair からの要望で来年度から予算措置されることになった。

また WG で resolution を準備中であることを説明した。反応は悪くなく、その中の 1 項目である vice president の Gender Issue 担当就任は合意された。

その後、持ち帰って WG 内で再検討し、最終版が確定している。

Resolution 案から、以下の意見交換がされた。主な意見は以下のとおり

- ・登壇者の女性比率の目標数字を言わないのはいいアイデア。シンポジウムの世話人に決めさせるというやり方で、物理学会でも取り入れられるのではないかな。
- ・領域は構成メンバーがはっきり決められていないので、領域の女性比率を出すことができないが、講演者の中で女性比率を出すことはできる。領域代表にはそういった意識をもってもらいたくのが良いのではないかな。

3. APS-JPS 合同物理学会 (2023 年 11 月 26 日-12 月 1 日ダイバーシティ関連講演報告：板橋委員)

板橋委員より、35 分+10 分の講演で、30-40 名程度の出席者があったことが報告され、発表した内容と、その後の議論やコメント内容が説明された。また、当日までの感想も含め、以下の報告がされた。

他の発表よりも準備に時間がかかり非常に苦労した。セッション後の議論が盛んで、米国の日本人研究者からも様々な意見が出された。米国の状況など説明され 300 人の女性公募にあたって、限られたパイを分け合っているのか、追加で 300 人のポジションが用意されているのかなど、細かなところまで議論された。

また、他の委員から、やはりダイバーシティ関連の発表資料を作成することに非常に苦労した経験が話され、今回の発表スライドを委員会内で共有することとなった。併せて、委員会の HP に学会の女性比率、学協会連絡会が発表したものなど公になっているものを集めたデータ集ページを作成する案が出された。

4. 次期委員について (任期 2024/4/1-2025/3/31)

退任予定の委員より次期委員の選定状況が説明された。

溝川委員 任期満了による退任予定。東大理物 小林研介先生に次期委員就任内諾済み。

板橋委員 4 期目辞退予定。京産大 山縣淳子先生に次期委員内諾済み。

田島委員 4期目辞退予定。次期委員候補選出中。

なお、次期委員については、本委員会で確認後、2024年3月理事会までに諮り、最終決定となる

5. 関西科学塾F日程(2024/3/17)における賛助会員展示ブースについて(田島委員)

田島委員より、賛助会員ブースの説明がされ、以下のことが報告された。

- ・本年は田島委員、服部委員が担当となり出展をする。
 - ・ポスターは、成木委員より2023年の夏学用に作成したポスターを提供してもらいアップデートして使用する。
 - ・実験は、前回の実験および、実験に関連した記念品が好評だったので、今年も同内容を実施する。奈良先端大の学生アルバイトを2名ほど雇用する予定。
- また、実験に関する予算についても問題ないことが確認された。

6. 春季大会ランチョンミーティング(留学生)(2024/3/18-21(オンライン)準備進捗、検討:田島委員)

田島委員より、以下の通り進捗が報告された。

- ・次回に引き続き、理事会主催で開催する。
- ・手続きは山本文子理事、準備、運営は田島委員が行う。
- ・テーマについては理事会から明確な要望はないので、前回の参加者に意見をいただいてみるのもよいかと考えている。理事会としては、一般会員の声を集めて、対策を考える元にしたと考えていると思うので、意見を吸い上げる場にできればと考えている。
- ・開催時間については、他のセッションや、インフォーマルミーティングと被らないように夕方の時間帯にすることを考えている。
- ・1月理事会では他の理事にも協力も仰ぐ予定。

意見交換が行われ、会誌編集委員でもある溝川委員から会誌編集委員会で、ダイバーシティ委員会の記事の継続的な掲載を検討いただけるよう提案することとなった。具体的な提案内容は2024年1月30日の会誌編集委員会までにメールベースで検討し、作成する。

主な意見は以下の通り

- ・会誌のリードページだけでも英語化をという話があった。そのあたりを議論することにして、会誌編集委員会の方にも参加いただいてはどうだろう。
- ・夏学など委員会の活動が思ったより委員会外に知られていない。活動を記事にして

もよいかもしれない。

- ・夏学、関西科学塾、学協会連絡会について、淡々と報告するのではなく、委員の思いなども含めた書き方にして隔月、継続的に載せるような形で、読者に問題意識、取り組みを刷り込んでいくのがよいのではないか。
- ・「ダイバーシティ委員会より」というような固定枠をもらえたら良いのでは。

また、この意見交換の中で、夏学の会場である国立女性会館が廃止になる可能性があることが報告された。

7. 委員会の今後の活動について（小林委員長）

各委員の経験も交え、今後の当委員会の取り組みについて意見交換がされた

<配布資料>

資料 2-1_AAPPS_WIP_Resolution_2023_ver8

資料 2-2_Memo on the 55th AAPPS council meeting

資料 4_79 期名簿